

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- 弊社の木桶仕込み醤油は、単調さを感じさせない複雑で深い風味が特徴である。この複雑さは、蓋をせず常温で醸造する「天然醸造」（本醸造方式によるものであって、酵素や加温による醸造を促進したものでなく、決められた食品添加物を使用しない醤油造りのこと）によって、春夏秋冬の温度変化と向き合い、長期間にわたってじっくりと熟成させることで生まれる。
- 現在は国内での販売がメインで、全国の小売店、飲食店等へ幅広く販売している。
- 令和3年に設立された「木桶仕込み醤油輸出促進コンソーシアム」に参加し、令和6年からは商談会（FOODEX JAPAN）に参加。現在、商談会場でつながりのできたインドに輸出を計画中。また、問い合わせのあったカナダの商社に輸出をしたことから、カナダでの展開も目標としている。

【課題】

- これまで国内販売に注力していたことから、海外のニーズを把握できていない。
- 輸出に関するノウハウが蓄積されていないため、情報収集が必要。

2. 輸出事業計画の取組内容

取組①

- 木桶仕込み醤油輸出促進コンソーシアムメンバーでの勉強会や展示会で海外バイヤーと触れる機会を増やし、海外でのニーズや趣向をリサーチ。また国内の輸出展示会等にも参加し、直接海外のバイヤーと接することでニーズを把握する。

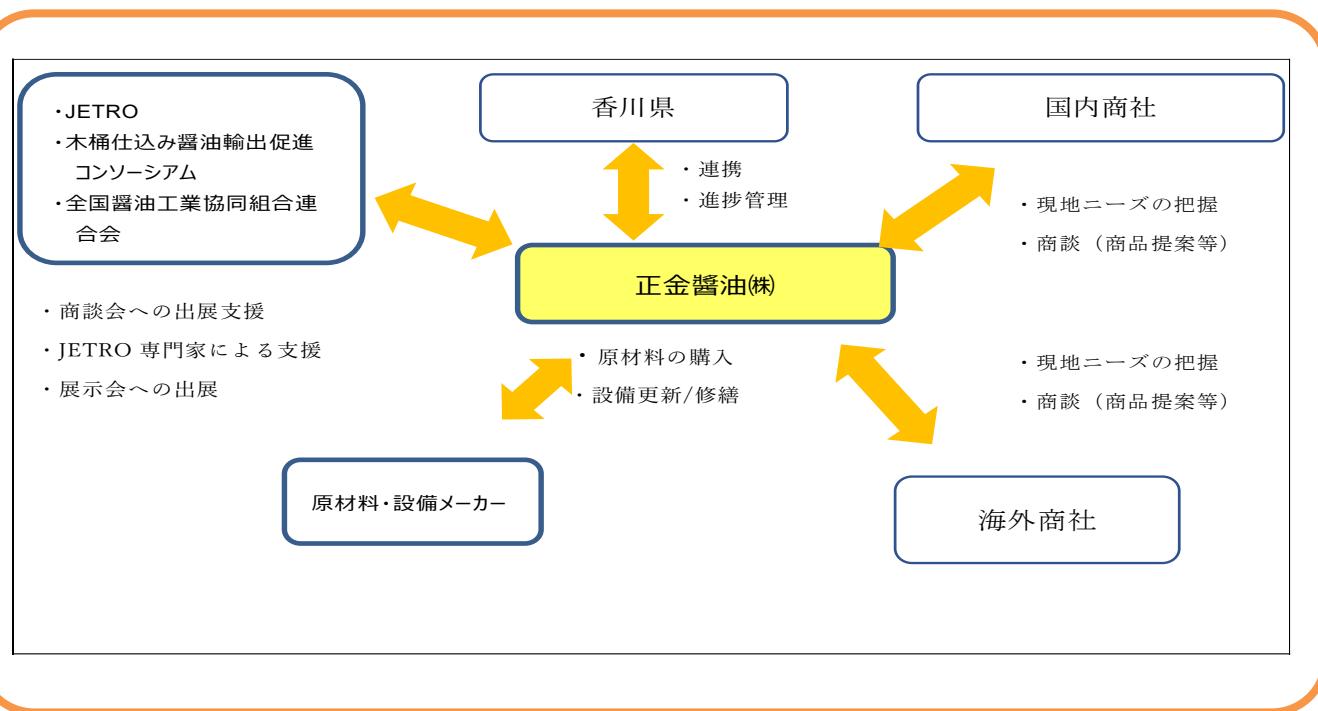
取組②

- 木桶仕込み醤油輸出促進コンソーシアムで開催されている毎月の定例会や勉強会に参加し、輸出に関する情報収集を行う。
- 木桶仕込み醤油輸出促進コンソーシアムのメンバーとして活動（輸出拡大実行戦略の品目別団体と連携した国内外の展示会への出展、海外飲食店でのPRイベント、インフルエンサーの醸造蔵現地視察招聘ツアー等）、FOODEX JAPANで国内外バイヤーや国内商社との商談会に参加する。また、農林水産物・食品輸出プロジェクト（GFP）に登録し、セミナーやイベントに参加する。同時にJETROに相談や問い合わせを行い、JETRO主催の商談会等にも参加する。

輸出事業計画

※申請者名：正金醤油株式会社、品目：醤油

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

(品目：醤油)	現状令和6年度 (令和6年7月～令和7年6月)	目標年令和10年度 (令和10年7月～令和11年6月)
輸出額 (千円)	197	400
輸出量 (L)	400	800
輸出先国	カナダ	カナダ・インド
生産量 (L)	300,000	310,000